

# 2004 Suzuka 8 hours World Endurance Championship Race

MOTO WIN RACING “FIM 2004 世界耐久選手権シリーズ第5戦 鈴鹿8時間耐久ロードレース” 参戦レポート  
7月25日(日) 三重県鈴鹿サーキット 天候:晴れ 気温:30.7℃ 観客数:7万人

## #899 MOTO WIN & Kiss-FM KOBE

鈴木 慎吾 / 野田 弘樹組 Honda CBR1000RR BRIDGESTONE  
予選 27位 / 決勝 15位 (XX-Formula Div.1 class 2位)

MOTO WIN RACING 8耐初参戦! 攻めの走りで上位完走を果たす!!



クラス別表彰台でのインタビューに答える野田選手(左)と笑顔の鈴木選手(右)  
くりリース掲載写真はPanasonic デジタルカメラ LUMIX を使い、チームスタッフによって撮影いたしました。>

### 7月23日(金) 計時予選(公式予選)

真夏の祭典「8耐」は始まった。チームは8耐に向けての新規パーツの投入と、続く猛暑の中ベストなセットが作り出せずにいた。セッティングの変更を繰り返しながらのタイムアタックが続く。そんな中、午前中に野田が記録した2分14秒533がベストタイムとなり、27番手グリッドを得ることができた。明日のスペシャル・ステージ(上位20チームでの一人ずつのタイムアタック)には参加できないが、8時間走り易い車体を作り上げるのが優先される。夜間練習走行(75分間)もフルに使い、ようやく決勝レースのシミュレーションができるまでになってきた。

### 7月25日(日) 決勝レース

11:30 決勝レースはスタートした。スタートライダー 鈴木 は落ち着いたスタートで自分のポジションを確保する。11周目(11:55) スプーンカーブ入り口で前走者が転倒、鈴木 の直前にセーフティーカーが入る、波乱の序盤戦を切り抜けた1時間後、ルーティーンのパットイン。タイヤ交換、ガス給油、ライダーチェンジ。続く野田のペースは第2セッションの中で明らかに速く、2時間後の順位を17番手まで押し上げる。そして14番手走行中の4回目のパットイン、タイヤ交換時にフロントアクスルハンガーが破損、すばやい修復作業が行われたが3分強のパットインとなってしまう。20番手まで落とした順位ではあるが、自分達の限界でレースを走りきる目標は変わらない。

鈴木/野田の力走、それは8時間後のチェッカーまで続く。最終ラップ最後の130Rコーナーで野田は8番手走行中の世界耐久選手権チーム#94 GMT94-YAMAHAを抜き去った。

総合15位(クラス2位) MOTO WIN RACING は、初めての8耐を駆け抜けた。ご声援ありがとうございました。

### ライダーコメント

**鈴木 慎吾** 「ひとつの夢をかなえることができました。支えてくれたチームスタッフ、スポンサー、声援を送っていただいた皆様に大変感謝しています。レーシングライダーとしての自分に足りないものをきちんと受け止めて、次のステップにチャレンジしていきます。本当にありがとうございました。」

**野田 弘樹** 「今回の8耐のコンセプトとして、僕にできることを自問自答していた。そして、カいっぱいストラップまで走り抜くことができたと思う。MOTO WIN RACINGが勝利に向かって少しでも成長してくれること願っている。僕自身も新しい経験ができたことを嬉しく思います。ありがとう。」

併催レース「鈴鹿4時間耐久ロードレース」(7月24日決勝)には、MOTO WIN RACINGより2チームが参戦しました。併せて結果報告をさせていただきます。

# 52 MOTO WIN & Kiss-FM KOBE 長尾 俊二/黒瀬 大策 予選 12位/決勝 8位

長尾 俊二「表彰台を狙っていたのでこの結果には満足していませんが、課題を克服して来年は優勝を狙います。」

#899 MOTO WIN & Kiss-FM KOBE 稲垣 琢真/高田 敦史 予選 7位/決勝 リタイア (3位走行中転倒)

高田 敦史「凄く残念です。絶好調でウィークに入りトップ争いの中で転倒してしまいました。またチャレンジします。」

8耐レースリザルト [http://www.procione.com/suzukaland/8h/8h\\_index.htm](http://www.procione.com/suzukaland/8h/8h_index.htm) (鈴鹿サーキット HP)